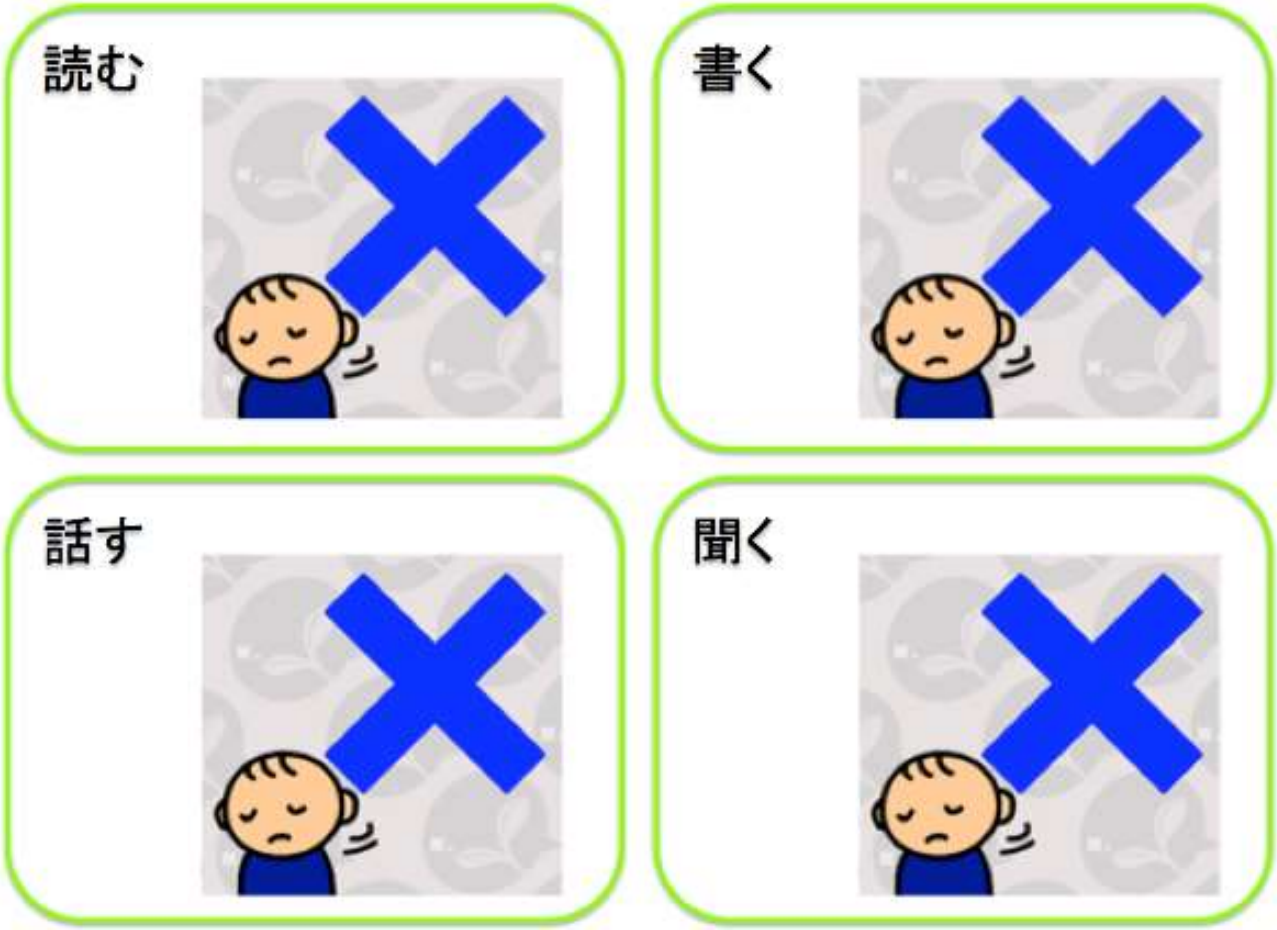
「自分で学べる」を目指して

意東小学校　井上賞子

発信にも受信にも消極的で
活動が継続しなかったQさん

Qさんの入学時の状況



学年の学習は厳しいと思われる状況

入学時のねらい

発信の選択肢を増やし、
Qさんの思いや願いを広げていきたい

・情報を共有する方法を増やしていくことで、応答する体験や喜びを重ね、周囲への関心が広がる

・発信や確認の手だてになるよう、読み書きを習得する。

Qさんの学びを支えるために活用したICT

①「情報を共有する」ツールとして

②「読み」「書き」の習得を支えるツールとして

①「情報を共有する」ツールとして

1年時の取り組み

「By Talk for Shool」→思いを伝え合う

・情報を共有する　・伝わる体験を支えていく

⇒安心できる関係づくりへ

2年時の取り組み

「Pepper」→studioTAKENOKO(Qさん+教師)

・情報を発信する　・評価を受け取る機会を増やす

・Pepperを介して、周囲と関わる機会を持つ

⇒関わる対象や機会を広げていく

３年時の取り組み

「Pepper」→P.H.C.(Qさん+友達)

・友達と一緒にPepperに関わる機会を持つ ・発信を楽しむ

⇒関わり方を深めていく

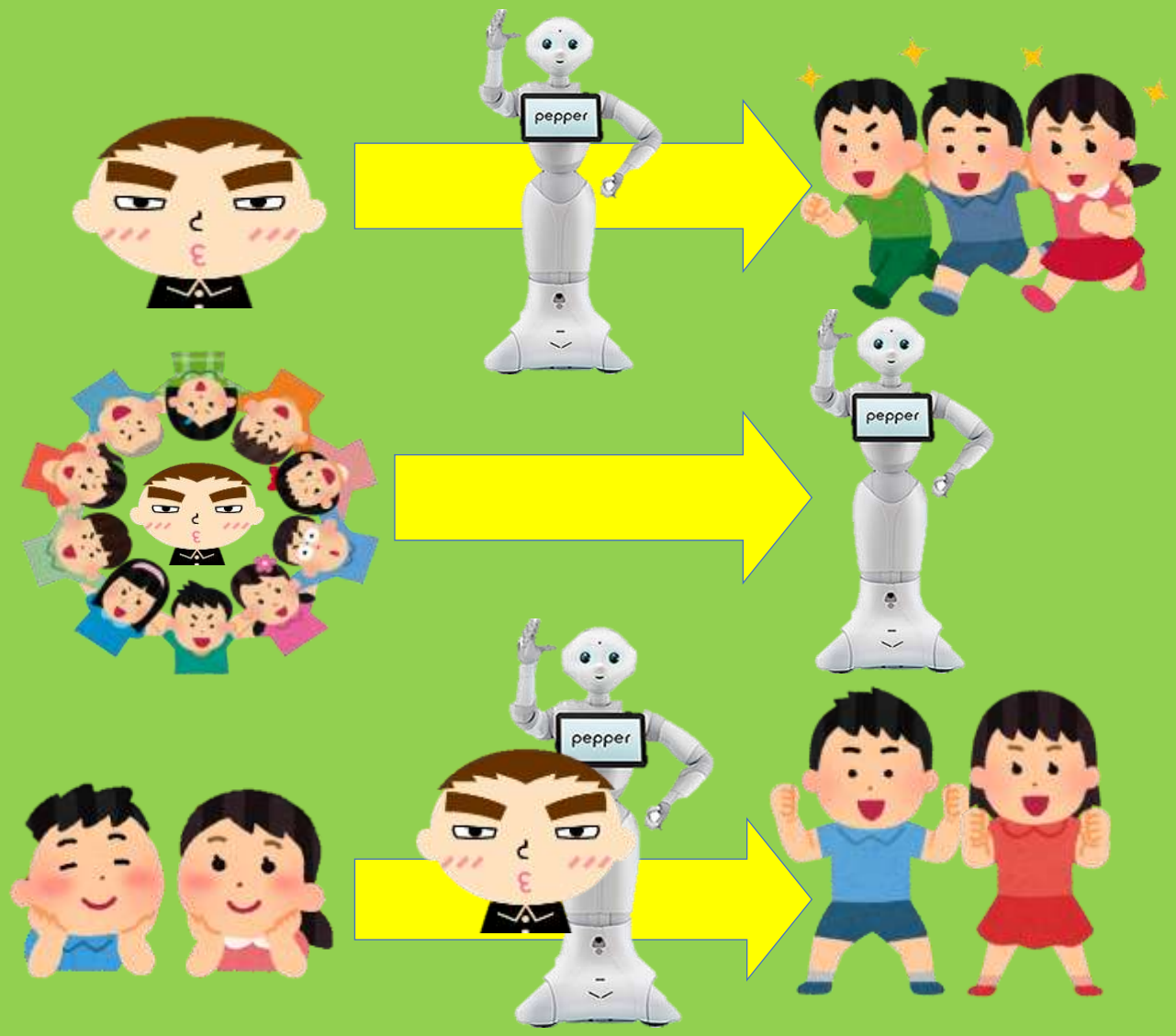
4年時の取り組み

「Pepper」→委員会サポーター(Qさん+友達)

・みんなの願いをPepperで応援する

⇒周囲の想いを受けて行動する体験につなげる

Pepper



で

へ

と

②「読み」「書き」の習得を支えるツールとして

ひらがな

→音との一致を促す

「デイジーポット」「FirstWords: Japanese」

「ひらがな　五十音」「これなあに?」

「ひらがなよめるかな」

「ひらがな　こどもゆびどりる」

→完成の見通しをもって書く体験につなげる

「1日10分でえがじょうずにかけるアプリ」

→文字のとらえやすさを支える

「ひらがなおけいこ for iPhone」

→言葉の合成や分解、イメージ化を支える

「にほんごひらがな」「Bitsboard PRO」

「視覚支援シンボル「さがすんです。」

魔法の種
報告書をご参照下さい

この3つは、現在配信終了

②「読み」「書き」の習得を支えるツールとして

漢字

→音との一致を促す

「小学漢字よみかたクイズ 1500問

「i暗記」「まなニャン 小学漢字読み方」

→文字のとらえやすさを支える

「小１かん字ドリル－小学校で学ぶ漢字80字！」

「小２漢字ドリル－小学校で学ぶ漢字160字！」

文章

→言葉の塊をとらえる、音を手掛かりにイメージを広げる

「デイジーポット」　「絵本が読み放題！知育アプリPIBO」

「PhotoMemes for iPad」

→選択することで、文章を構成していく

「ずぼら日記」(開発中の試作アプリ)

→視覚化して、伝えたい内容を整理していく

「SimpleMind+」「ロイロノート」

魔法のdiaryの報告書をご参照ください

②「読み」「書き」の習得を支えるツールとして

「まとめる」

→日常の中に入力する場面を組み込んでいく

「7notes SP」　Bluetoothの物理キーボード

→デジタルノートを活用する①

「MetaMoJi Note」　ドキュメントスキャナー

→情報を整理してまとめる

「SimpleMind+」「ロイロノート」「NHKforSchool」

「日本地図マスター 楽しく学べる教材シリーズ」

「調べる」

→調べて解決する体験を積む

「例解学習国語辞典第九版［＋漢検過去問ドリル］」

「By Talk for Shool」「Google 翻訳」「safari」

「画像検索 - 画像を使用して画像を検索」

→デジタルノートを活用する②

「MetaMoJi Note」

魔法のwalletの報告書をご参照ください

大きな成長を見せてくれた
Qさんの次の課題設定は？

と、思っていたら・・・

突然「休校」がやってきた

※松江は３月は休校しませんでした

「子どもが来るのは明日だけ」と分かったのは前日の夕方

- まだ新年度数日目、届いていない教材もある
- 「どんな課題をどれだけ用意すればいいのか」
- 大慌ての職員室
- うなる印刷機

「子どもが来るのは明日だけ」と分かったのは前日の夕方

- 「これは大変なことになった」
- 慌てて課題の準備を始めたら・・・

- そんなに大変じゃなかった(;^_^A
- 「特別な支援」でやってきたことは緊急時にも強いのかも

今までやってきたことで役立ったこと①
「ゆるやかな準備」と「定着への学習量の保証」

- 「授業で取り上げただけ」では力が付きにくいから、やってきたこと

ゆるやかな準備	授業	定着につなげる反復
苦手さが予想される学習に対して、スタート時についていると学びやすいと思われる要素を日常の中に取り入れていく ※宿題も活用	スムーズに学習をスタートし、意欲的に学べるを目指す できるよ! わかるよ! 	「できた」「わかった」体験を定着につなげ、なめらかに活用できるように反復の機会を持つ ※宿題を活用

今までやってきたことで役立ったこと②
「方法を手渡していく」ことを意識した取り組み

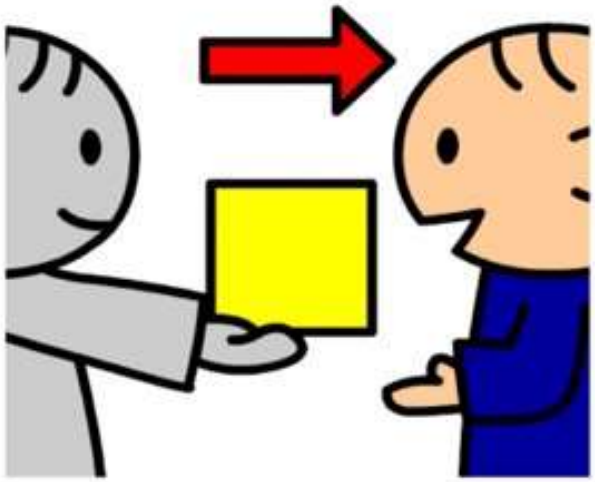
・「支援者＝支援の手立て」にしない

・必要に応じて手立てを持って解決できる力をつけていく

※eラーニングも１年前から導入し宿題に位置づけ

※「調べて解決する課題」を宿題に位置づけ

学ぶための前提
環境に左右されない
学習の主体としての自信と見通しにつなげる



①も②も、「宿題」という機会を利用してきた

休校中に出した「宿題」１日分

だいたい１日３時間～４時間かかる

〇アナログで

・算数プリント１枚
・算数ドリル１ページ
・漢字ドリル１ページ
・音読

〇デジタルで

・スマイルゼミ　今日のミッション
・漢字アプリワンユニット
・計算アプリ割り算百問掛け算百問
・NHKforSchool 理科１つ　歴史１つ
・都道府県名アプリ１回
・スマイルゼミ　計算ドリル１ユニット
・スマイルゼミ　漢検ドリル１ユニット

平常時、
毎日やっていた宿題

授業で日常的に取り組んでいたものや、長期休業中に宿題として取り組んだ経験のあるもの

休校中に出した「宿題」1日分

〇アナログで
・算数プリント1枚
・算数ドリル1ページ
・漢字ドリル1ページ
・音読

〇デジタルで
・漢字アプリワンユニット
・計算アプリ割り算百問掛け算百問
・NHKforSchool 理科1つ　歴史1つ
・都道府県名アプリ1回
・スマイルゼミ　今日のミッション
・スマイルゼミ　計算ドリル1ユニット
・スマイルゼミ　漢検ドリル1ユニット

〇定着を目指しての復習内容
・算数プリント1枚
・算数ドリル1ページ
・計算アプリ割り算百問掛け算百問
・都道府県名アプリ1回
・スマイルゼミ　計算ドリル1ユニット
・スマイルゼミ　漢検ドリル1ユニット

〇イメージを持つための予習内容
・漢字ドリル1ページ
・音読
・漢字アプリワンユニット
・NHKforSchool 理科1つ　歴史1つ
・スマイルゼミ　今日のミッション

普段の授業でしていたこと

①ゆっくり始める先行学習の時間

→おおまかな内容のイメージを持てたり、聞いたことのある言葉を増やしたり、作業的にこなせる計算や漢字のスキルをあげたりしていく

②新しいことをしっかり学ぶ時間

→伴走するイメージで、内容を教えると共に解決の手立てを示していく

③学んだことを定着につなげていく時間

→「確認の方法」を持たせたうえで、繰り返し学習していく

休校の影響を受ける部分

①ゆっくり始める先行学習の時間

→おおまかな内容のイメージを持てたり、聞いたことのある言葉を増やしたり、作業的にこなせる計算や漢字のスキルをあげたりしていく

②新しいことをしっかり学ぶ時間

→伴走するイメージで、内容を教えると共に「確認の方法」を作っていく

③学んだことを定着につなげていく時間

→「確認の方法」を持たせたうえで、繰り返し学習していく

休校中の課題で考えたポイント

①ゆっくり始める先行学習の時間

③学んだことを定着につなげていく時間

・この２つは自宅でも可能

②新しいことをしっかり学ぶ時間

・ここは影響が大きいが、

①の予習をしておくことで、登校後の②の学習の見通しが持てる

③の復習をしておくことで、登校後の②の学習がスムーズになる

算数の見通し

- 週に１度の半日登校の際に集中して指導

- 小数の掛け算と割り算は4年の3学期に学習し宿題で毎日取り組んでいたので「滑らかに解ける」状態で5年生をスタートしている

上巻		単元	指導時数
前期	1学期	★学びのとびら	1
		1. 整数と小数	5
		2. 直方体や立方体の体積 ◆他教科との関連：英語	8
		3. 比例	4
		☆おぼえているかな？	－
		4. 小数のかけ算	9
		5. 小数のわり算	9
		★小数の倍	5
		★どんな計算になるのかな？	2
		☆おぼえているかな？	－
		6. 合同な図形	8

- 残るのはここだけ

※６月前半には終了予定

※６月後半～７月前半で最初の単元から復習し、７月後半から予習へ

だから休校中の宿題は③の復習中心で

理科の見通し

- 今年度から交流級で学習の予定
- 内容のイメージをもたせることでスムーズに

だから休校中の宿題は①の予習中心で

- 複数の番組を組み合わせてプレイリストを作成

国語の見通し

- 読解や言語事項の指導は対面してやりたい
- 内容のイメージをもたせることでスムーズにスタートできるようにしておきたい

だから休校中の宿題は①の予習中心で

社会の見通し

- 国土の学習をスムーズにスタートするには、県の名前と位置が定着している必要がある
- 歴史の学習は今年度一年をかけてゆっくり楽しみながらイメージを持っていく予定だった

だから休校中の宿題は①の予習と③の復習で

「明日から休校!」と言われて「最後の1日」でしたこと

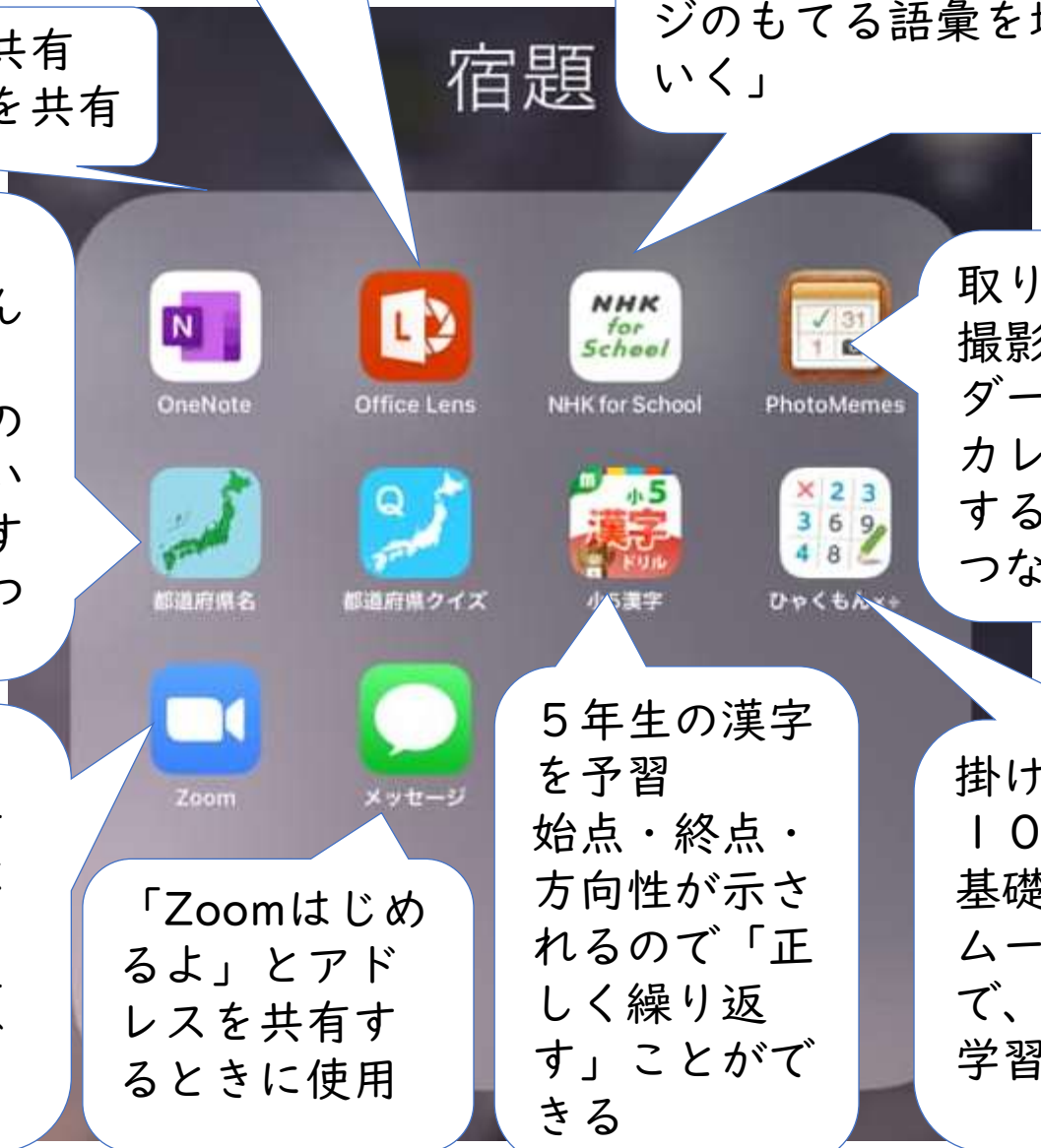
- アナログの宿題はいつもしているものなので、休校の間の日付を書き入れた
- iPadでする宿題と記録、通信用のアプリを一つのフォルダに入れた
- 理科と歴史のプレイリストを作った
- 記録方法を確認→私の端末にどう出てくるかを見せた
- Zoomの練習

  初めて使うのはこれだけ

アナログ課題の記録撮影時に使用

理科と社会のプレイリストを作成し、視聴することで学習のスタート時にイメージのもてる語彙を増やしていく」

体調と体温の共有
宿題チェックを共有



社会の復習用
「どちらかを選んで１日１回」
昨年学習した県の位置や名前について反復して確認することで定着につなげる

取り組んだ課題を撮影してカレンダーに保存
カレンダーを共有することで意欲につなげる

朝夕顔を見て声をかけることで、安心感や学習への意欲、困った時もきくことができる安心感や生活のリズムを支える

「Zoomはじめるよ」とアドレスを共有するときに使用

５年生の漢字を予習
始点・終点・方向性が示されるので「正しく繰り返す」ことができる

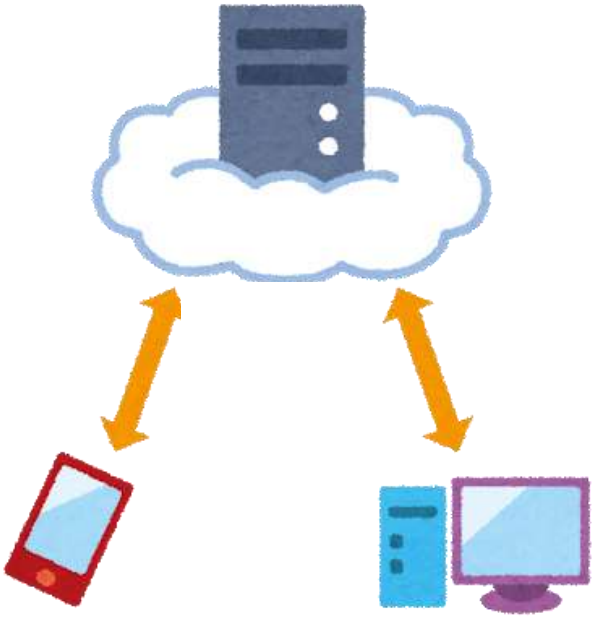
掛け算と割り算の１００問アプリ
基礎的な計算がスムーズになることで、新しい単元の学習を支える

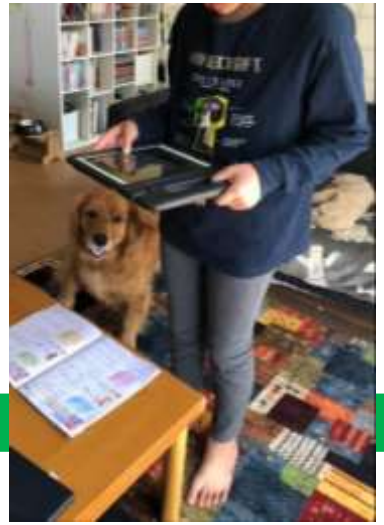
共有とやりとり

〇学習の記録→アプリの共有機能を活用

・写真をPhotoMemesのカレンダーに記録

・終わった宿題はOneNoteのチェックボックスにチェックを入れて確認

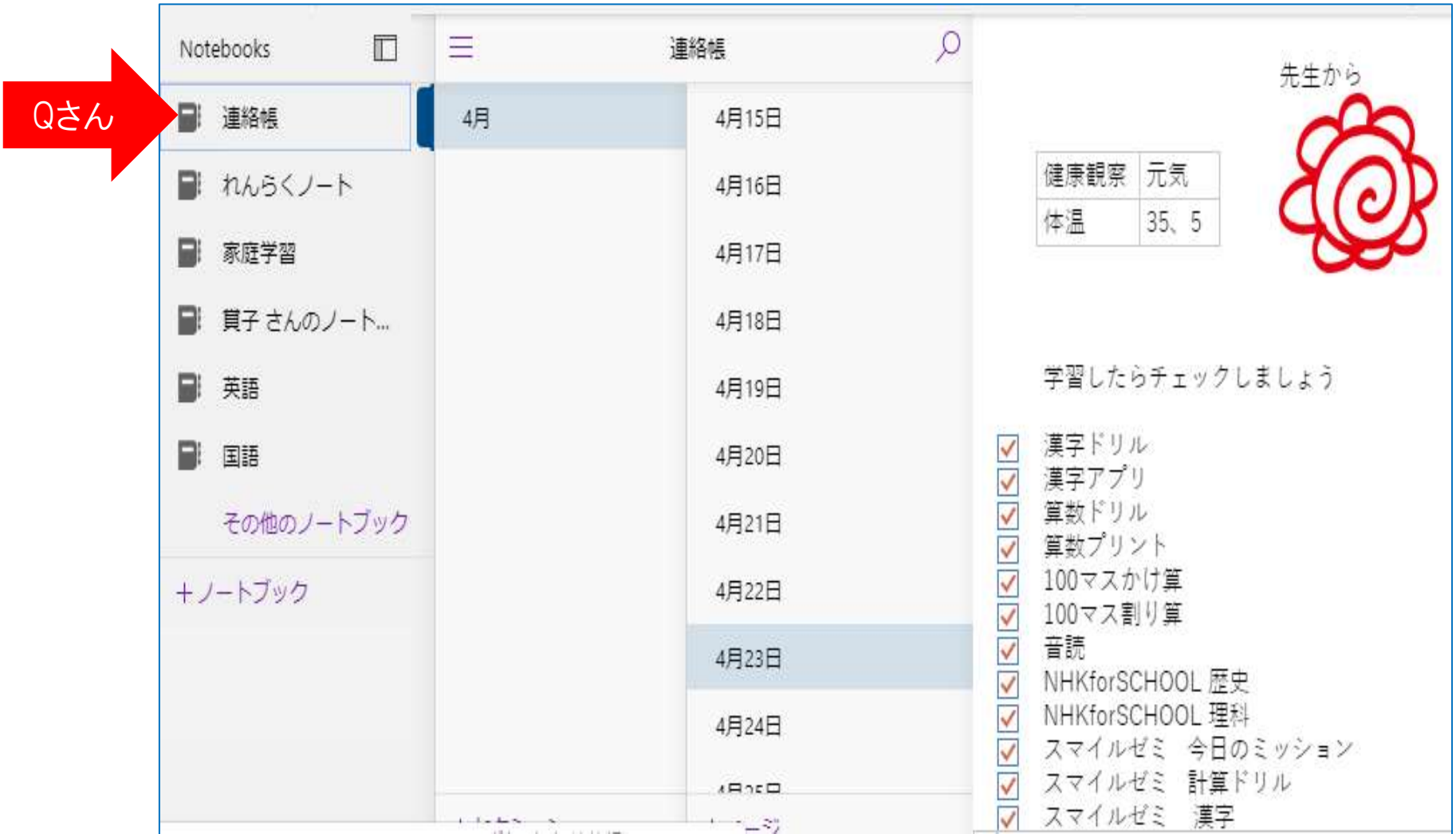




↑紙の課題は写真にとって

↓アプリの課題はスクショで

テンプレートに健康観察を書き込み
課題が終わったらチェック



共有とやりとり

〇遠隔でのやりとり

・顔を見て会話をしながら→Zoom

・話題の共有や調べたことの記録→ByTalk

朝９時
・体調と今日の学習の確認
・昨日の学習へのコメント
・学習スタートへの声掛け

夕方4時
・困ったことがなかったか確認
・取り組めたこちをほめる
・今日の学習についての質問があれば受ける
・ちょっとした雑談
・明日の朝の接続時間を確認

中邑先生からいただいた問題提起

日常へ課題を投げかけることで気づかされたこと

毎日目にしているものに対してもあまり関心が持てていない

量の感覚が実感を伴っていない

自分の暮らしに関して、すぐ手を貸してもらえるためできることが少ない

これに入ってるジュースの量？
6Lくらいかな

マヨネーズの材料？
牛乳かな

お湯わかしたことないし、カップ麺も作ったことない

「自己解決の手立てを身に着ける」は机上で完結する課題ではなかった

「家だから学べること」は日常を自分でデザインする力につながる

〇休校解除になっても年間を通して試みよう
〇まずは「身の回りの情報」に関心を持てるように働きかけてみよよう
〇「表示」から情報を得てできることを増やそう
→自分で作れる、自分で調べられる、
　自分で解決できる

・身の回りの「mLをさがそう」　☜宿題に追加

休校中の「宿題」を振り返って

- 問われたのは
「これまでどう学んできたのか」

・問い直されたのは
「学んだことを自分周りの世界を知ることにつなげていく力」

だとしたら

大きな成長を見せてくれた
Qさんの次の課題設定は？

「自分で学べる」を目指して

①自立して学べる手だてを身に着ける

・イメージを持って学習に向かう

・学習したことを整理して記録する

・確認しながら定着させる

②学習したことを活用する場を広げる

・学校で学んだことを手掛かりに身の回りの情報を見直していく

・「表示」を手掛かりにできることを増やす

休校を終えて・・・

①ゆっくり始める先行学習の時間

③学んだことを定着につなげていく時間

①をしておくことで、登校後の②の学習の見通しが持てた

③をしておくことで、登校後の②の学習がスムーズになった

個別の場で学ぶ算数・国語・社会は１学期の内容をクリア

理科

- 休校中はNHKforSchoolの視聴を行い、１学期の学習内容について複数の番組を見ることで「語彙に触れる」ことを行ってきた
- 休校あけからは通常学級の授業に参加

①語彙に触れる、内容をイメージする

②一斉指導に参加

③OneNoteに学習した内容をまとめて復習

④プリントに取り組み確認

イメージを持って学習に向かう

- 次の単元に入る前にプレイリストを作成
- 複数の番組から同じテーマのものを集めてリストにしておく
- 隙間の時間や朝学習などの時間に視聴
- 新しい語彙にふれたり、学習内容をイメージすることをねらう
- 見終わったら「どんな言葉が出てきた?」など、できるだけ短い言葉で答えられる質問をなげかける→答えられなくても正解できなくてもいい
  こちらからは「・・だね」と確認する
- 同じテーマの番組を複数視聴することで、ゆるやかに情報を重ねていく

イメージを持って学習に向かう

単元ごとに、
複数の番組で
リストをつく
ることでイ
メージを持ち
やすくする

学習したことを整理して記録する

- 一斉指導を受けた後、OneNoteにまとめていくことで情報を整理するとともに参照しやすくする
- 板書は交流級担任に撮影してもらっておく
- 板書やノート・教科書を見ながらOneNoteにまとめなおしていく
- 後から振り返りやすいように
  画像をたくさん入れておく

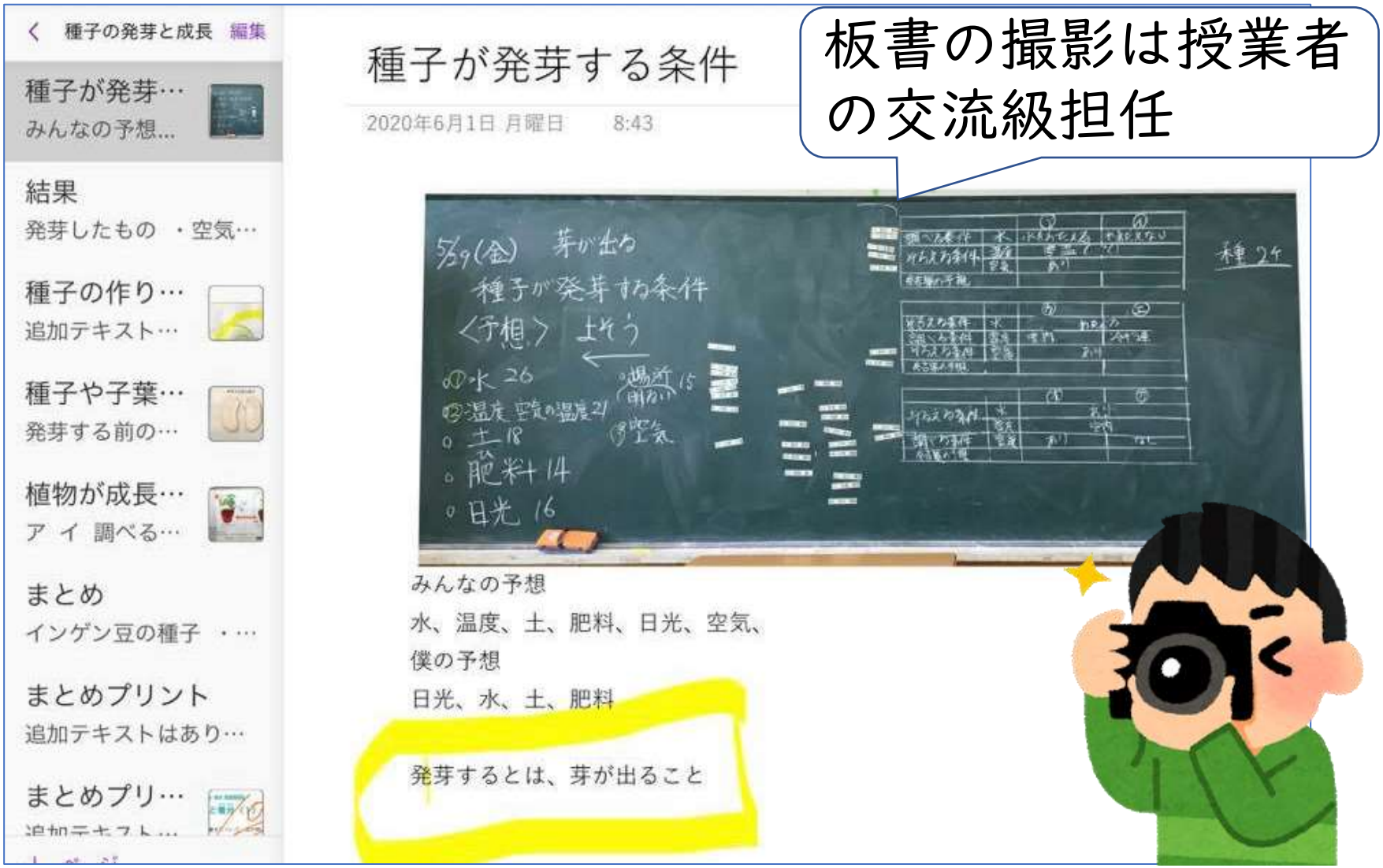
学習したことを整理して記録する

教科書の写真を撮影してはりつけ

大事な内容をタイピングして記録

線を引いたり写真とつなげたり

学習したことを整理して記録する

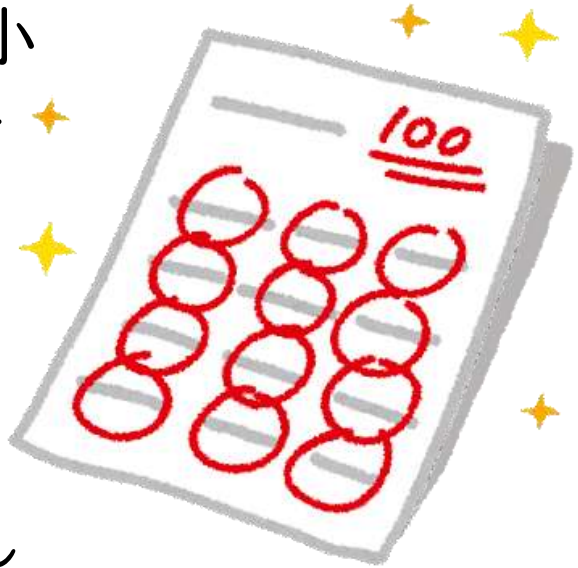


確認しながら定着を目指す

授業中に

・プリントをOneNoteにはりつけ、小テスト取り組み、分からなかったところはノートを参照して直す

→教師が丸付け



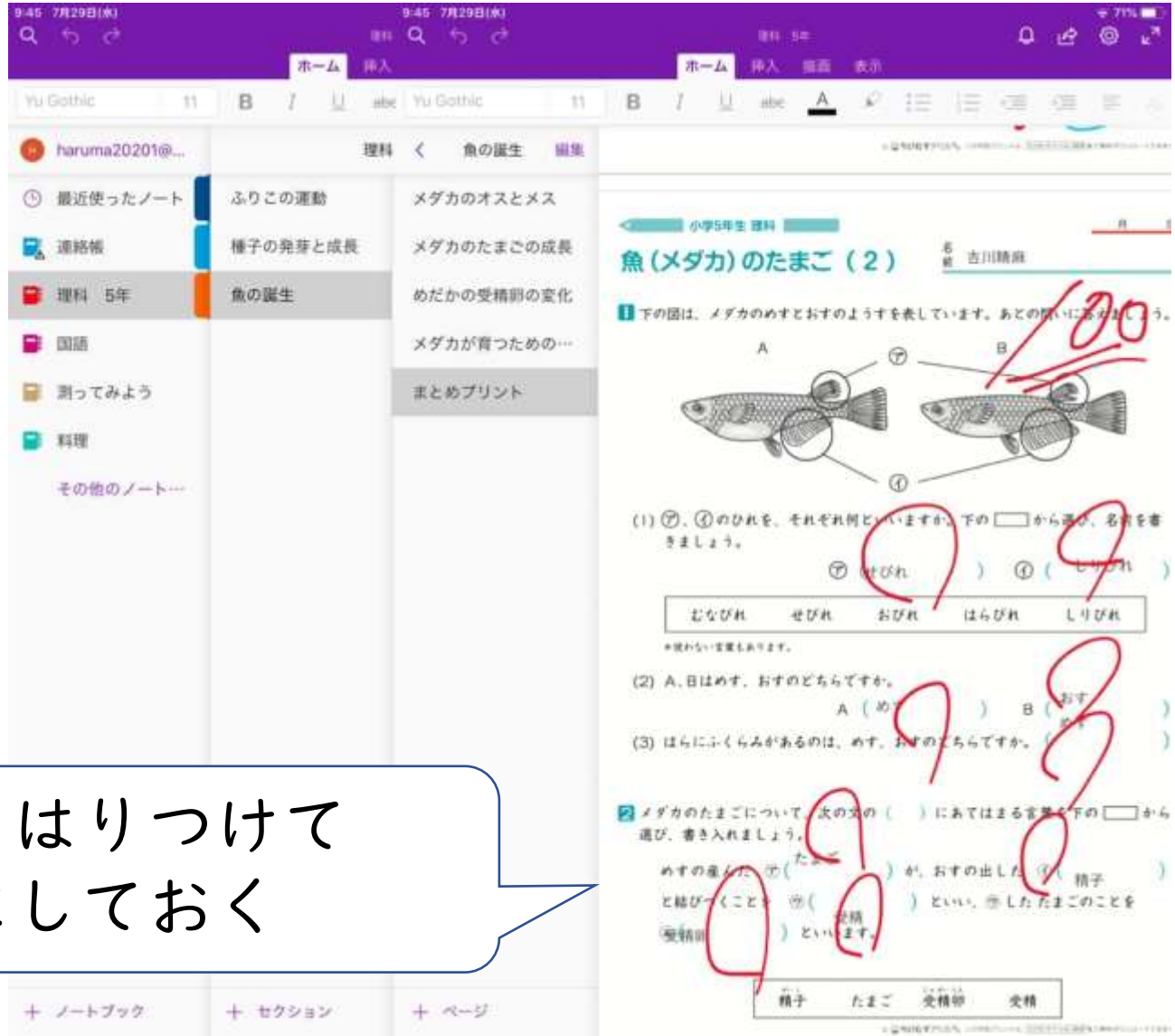
宿題で

- MetamojiNotesにワークを読み込んでおき、困ったときにはOneNoteと画面を切り替えて確認しながら取り組む

→1人で完結

・NHKforSchool視聴

確認しながら定着を目指す



プリントをはりつけて
「背景」にしておく

Webにあるプリントを使い分ける

ちびむすドリル 小学生

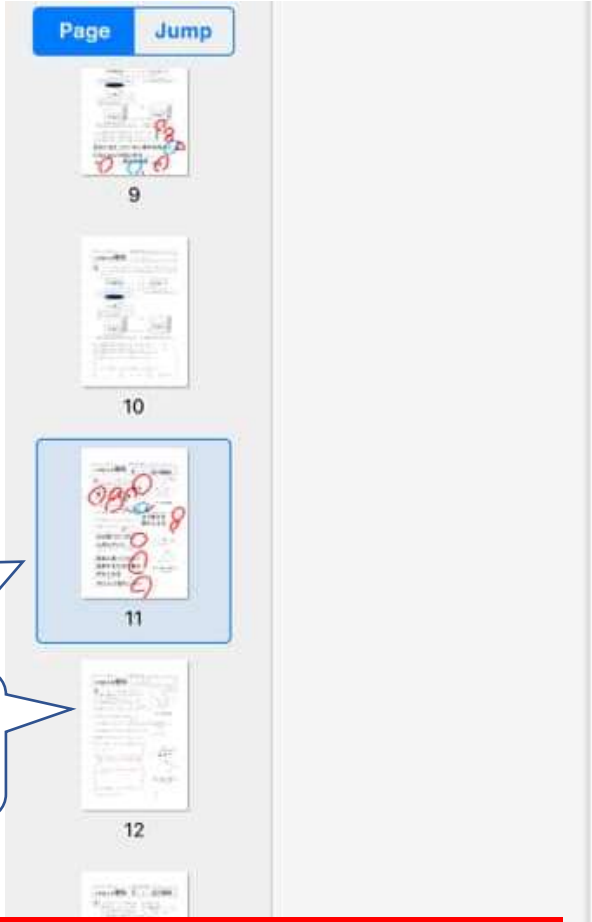
多様なプリント教材のあるサイト

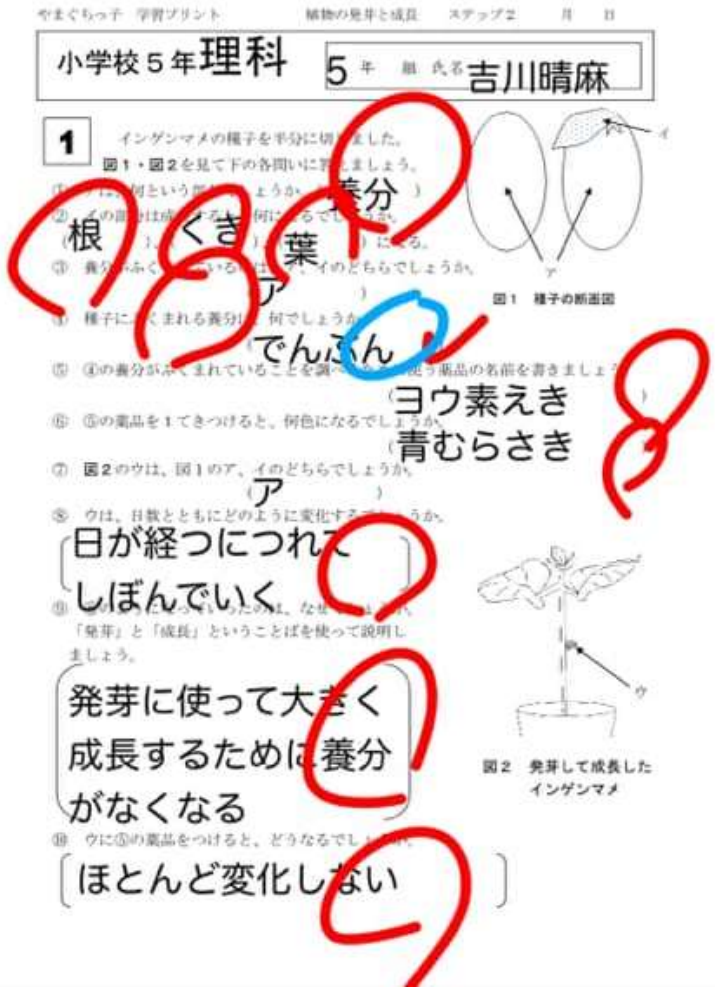
5年理科の練習問題が単元に分かれているので使いやすい

- 植物の発芽・成長・結実
- 動物の誕生
- 流水の働き
- 天気の変化
- 物の溶け方
- 振り子の運動
- 電流の働き
- ★コラボ教材★　小学生の理科　練習問題プリント
- 小学生・理科の学習教材　無料リンク集

小テスト用!

確認しながら定着を目指す





宿題プリント

解答ページ

自分で採点・修正

Webにあるプリントを使い分ける

やまぐちっ子学習プリント

ステップ１からステップ４まで難易度に応じた問題を用意しました。
自分で問題に取り組み、採点ができるようになっています。

学年・単元ごとにプリントがある。ステップ1～4に向けて難易度が増すため、無理なく繰り返せる

問題ページと解答ページが交互になっているので、丸付けしやすい。

小学校やまぐちっ子学習プリント　理科

該当の学年をクリックしてください。

3年生　4年生　5年生　6年生

5年生

領域	番号	学習プリントについて	プリント
小5理科	00	小５理科一括ダウンロード	
	01	雲と天気の変化	
	02	植物の発芽と成長	
	03	メダカのたんじょう	
	04	人のたんじょう	
	05	植物の花のつくりと実や種子	
	06	流れる水のはたらき	
	07	電磁石の性質	
	08	もののとけ方	
	09	ふりこの動き	
	10	☆やまぐちっ子プラス 植物の発芽	
		学校５年理科）	

宿題用！

確認しながら定着を目指す

予習で使ったプレイリストを「学習の振り返り」として宿題で再度視聴

「自分で学べる」を目指して

①自立して学べる手だてを身に着ける

・イメージを持って学習に向かう

・学習したことを整理して記録する

・確認しながら定着させる

②学習したことを活用する場を広げる

・学んだことを手掛かりに身の回りの情報を見直す

・「表示」を手掛かりにできることを増やす

国語で算数で家庭科な宿題

「表示があれば大丈夫！」

・表示を見て手順を整理

・手順を確認しながら実践

「測ってみよう！長さの巻」

・大きなものの長さと小さなものの長さ

・予想をたててから実際に測ってみる

表示があれば大丈夫!

- 「作り方」の表示程度の内容を読み取る力は問題ない
- しかし、体験につながっていない言葉も多いと思われた

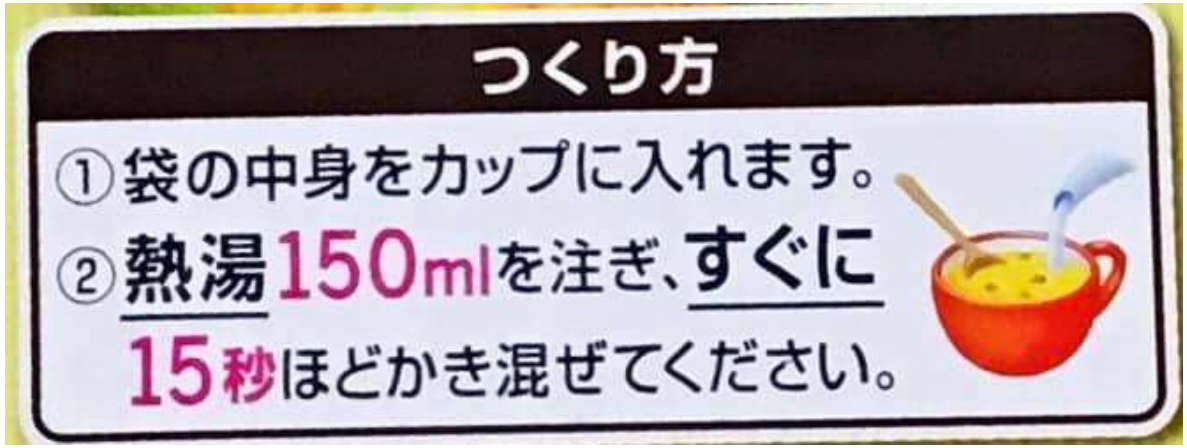
↓

- 手順に整理してから
やってみるを繰り返す

２回は挑戦!

表示があれば大丈夫!

スタートはコーンスープ



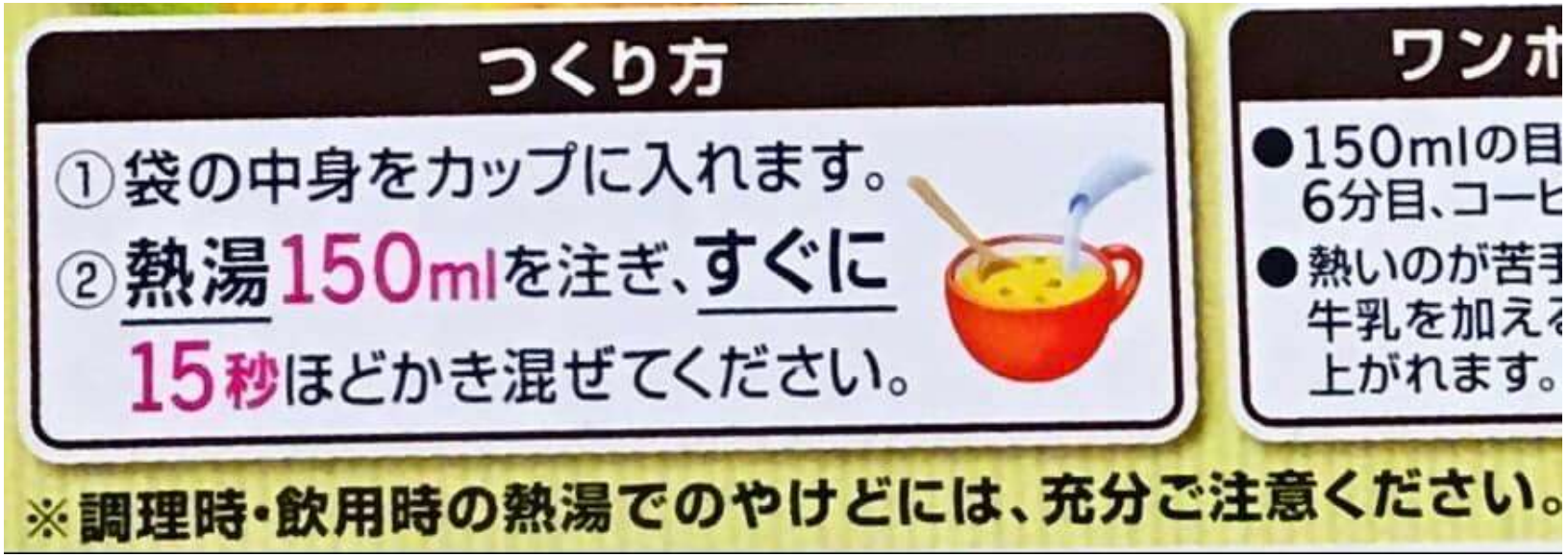
お湯はどうやってわかすの?

お湯を測るのって熱くない?

表示があれば大丈夫!

スタートはコーンスープ

- お家の電子レンジに「のみものあたため」モードがあるのを確認
- メモリ付きの耐熱計量カップを準備
- 表示を見て作り方を学校で確認



表示があれば大丈夫!

インスタントシリーズ

ワンタンスープ
↓
UFO
↓
かに玉
↓
カレードリア
↓
リゾット

家庭科シリーズ

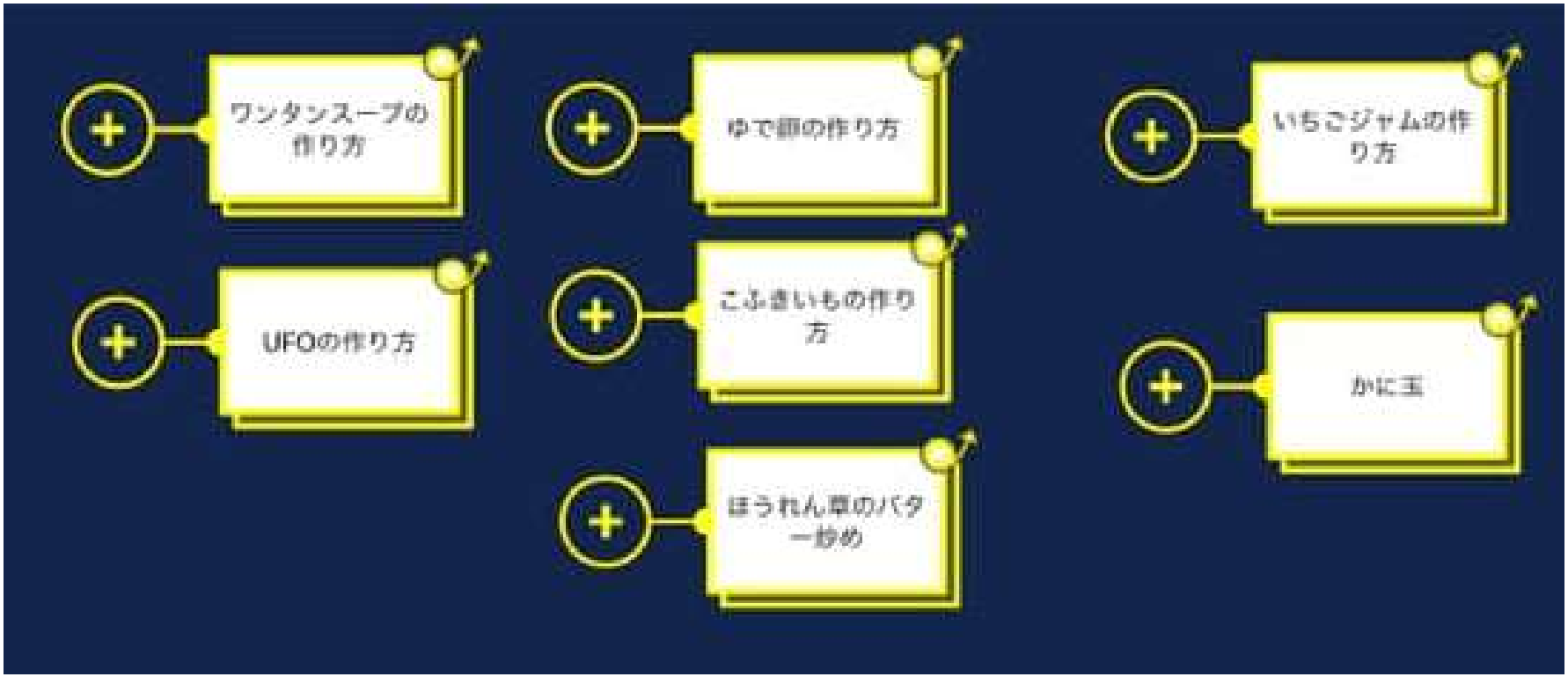
ゆで卵
↓
こふきいも
↓
ほうれんそうソテー

番外編

いちごジャム

表示があれば大丈夫!

・ロイロノートで手順書作成



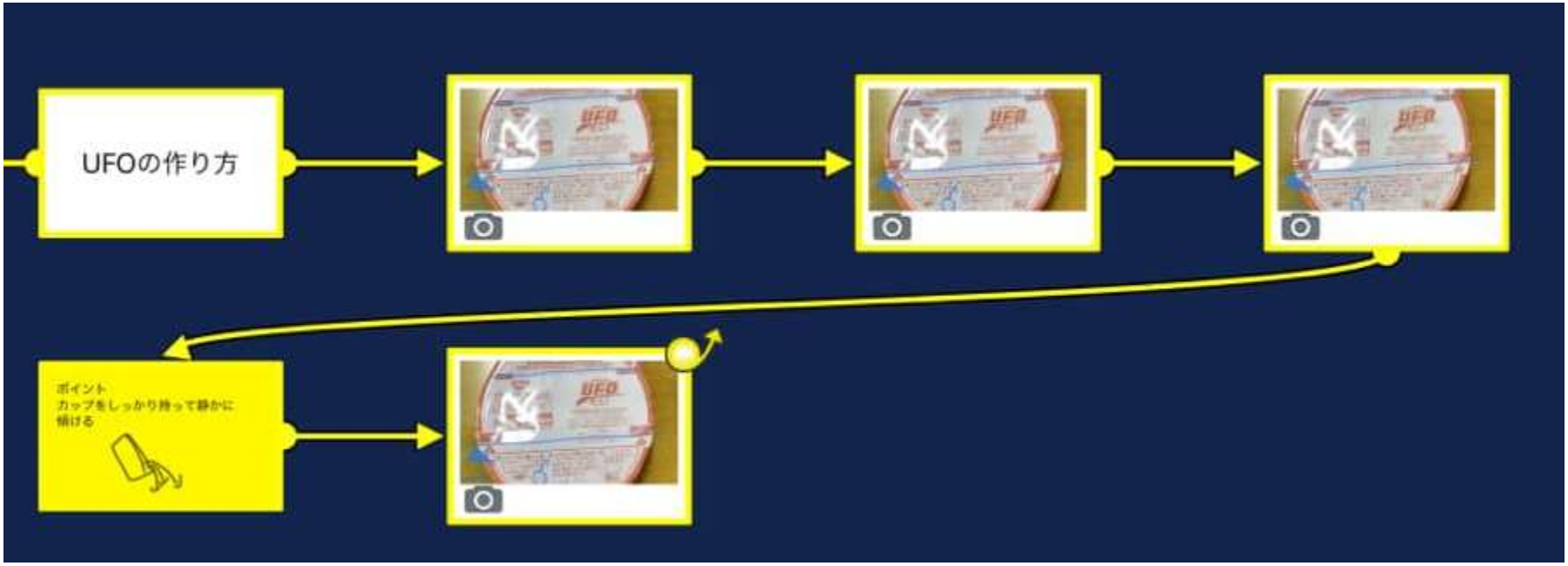
表示があれば大丈夫!

インスタントシリーズは

・表示を手順に分解してカードを作成

・読み上げて動画にする→動画を見ながら家で実施

・１回やってから注意点を追加



表示があれば大丈夫!

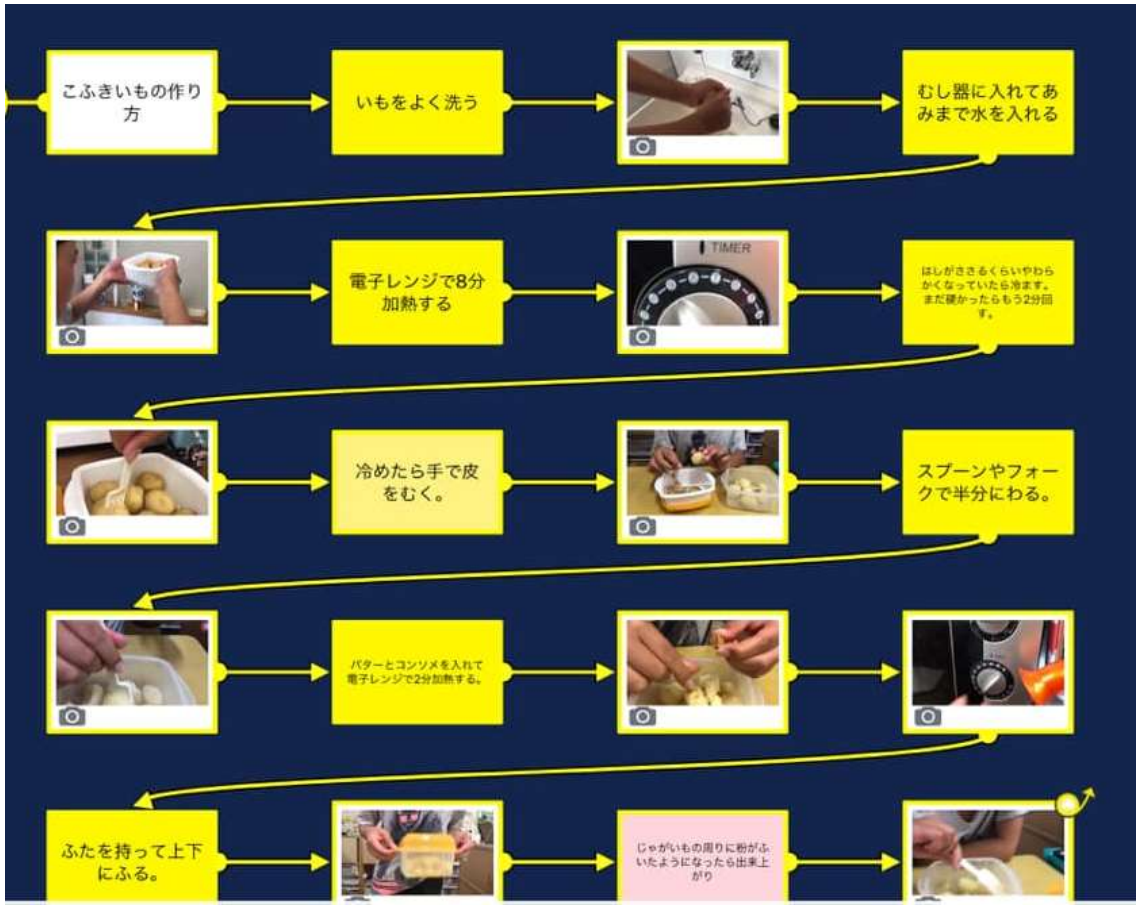
家庭科シリーズは

・授業で作成を体験し写真撮影

・手順に分解してカードを作成

・読み上げて動画にする

→動画を見ながら家で実施



表示があれば大丈夫!

９レシピ目の「カレードリア」は、手順書を作らず「表示だけ」を見て作成

※電子レンジと仲良くなってきた

※表示からやるべきことがイメージできるようになってきた

Wの切り替えと時間の設定もばっちり

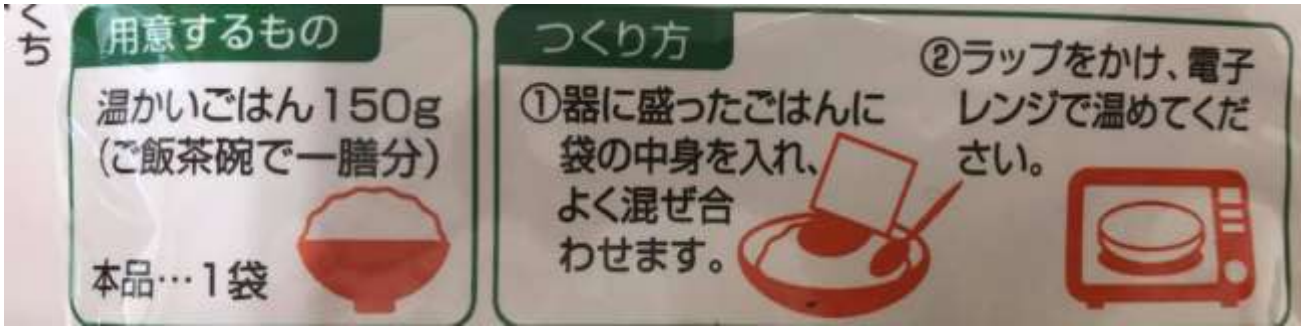
アレンジに挑戦!

10レシピ目のリゾット、表示にないチーズを「入れてみたら６おいしいよ」と声をかけたら大好評

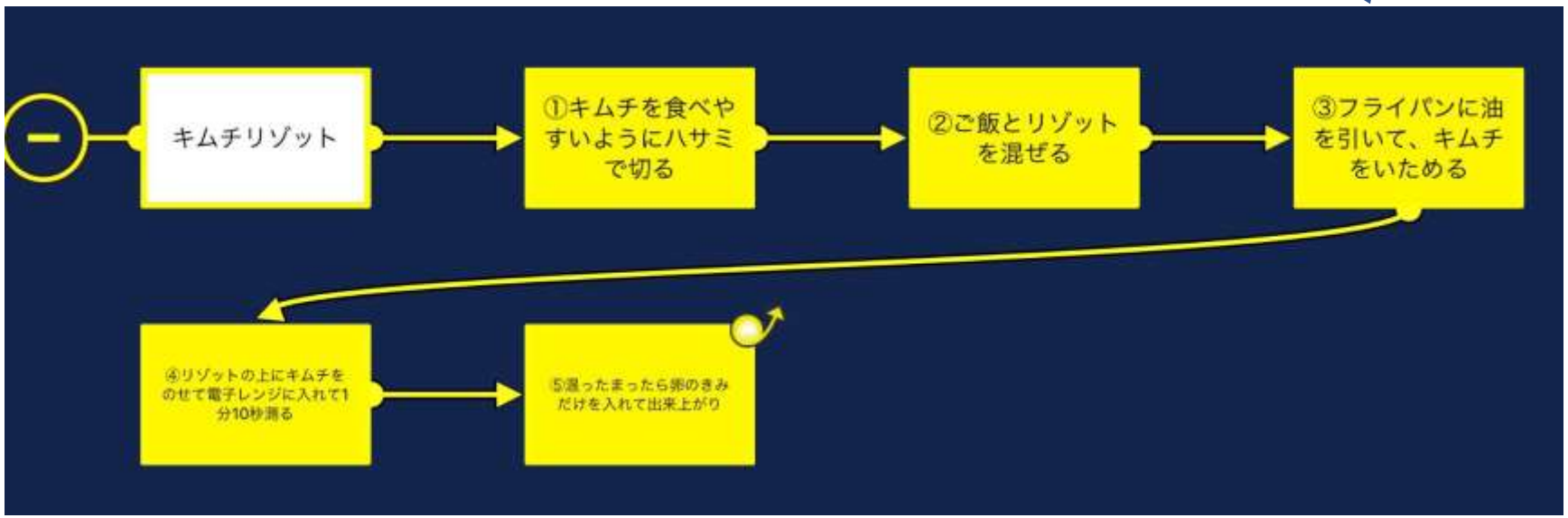
「次も何か入れたい」と「リゾット　アレンジ」で検索しキムチリゾットを発見

アレンジに挑戦!

「作り方はわかるけど、動画作っとく」



字だけで
大丈夫!



「作れるものが増えたよ」

お湯が沸かせるよ

表示があればインスタントは大丈夫

時間とwを確認するよ

キッチンバサミと電子レンジ用の蒸し器が便利

「おいしい」とか「また作って」と言われて嬉しい

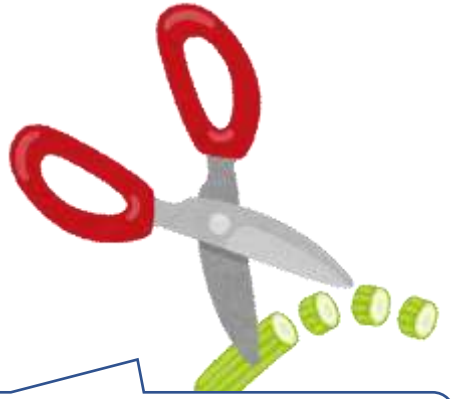
ここまでの4大アイテム

電子レンジ

電子レンジで使える計量カップ

「今」の力でスタートできる

電子レンジ用蒸し器



キッチンバサミ

「宿題」の先にある目標

３月には何が作れるようになりたい？

手巻き寿司!

本格派バージョン

家族に必要な量を知る
予算内で買い物をする

お米を測れる
お米をとげる
お米をたける

具が作れる
・たまごやき
・ツナマヨ
・梅かつお

必要なすし酢の量を計算できる
正しく測れる

やってみたいことに向かって学ぶ

「できる」が日常につながっていない

1L=1000ml
の換算はできる

4cm=0.04m
の換算はできる

学習した知識での操作はできる

500ml のペットボトルを見て「6Lくらい」と答える

花壇の横幅の単位を問われて「cm」と答える

自分の周りの世界を理解する学びになっていなかった

測ってみよう!～「長さ」の巻～

- 長さの計算や単位換算はできる
- しかし、日常の量感につながっていないと思われた

↓

- 「予測を立てる」
  「測ってみる」
  を繰り返す

大きい物と小さい物の測定に挑戦!

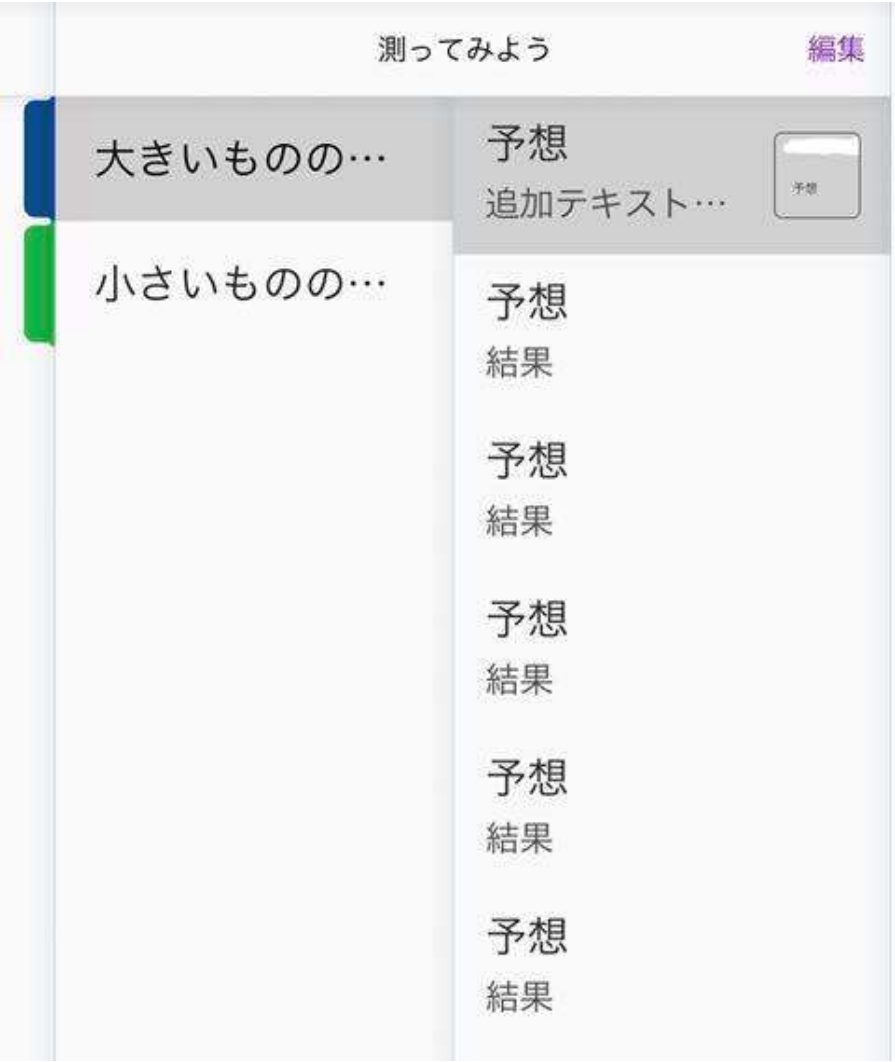
測ってみよう!～「長さ」の巻～

測ってみようセット

・ミニノギス

・５ｍスケール

測ってみよう!～「長さ」の巻～

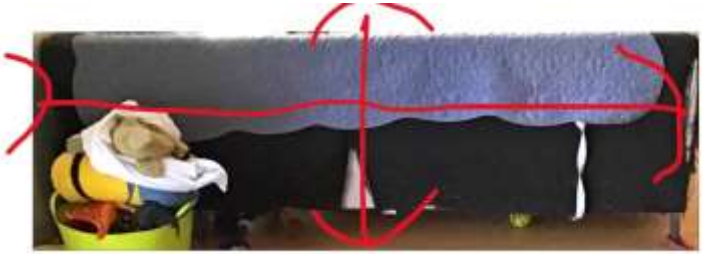


テンプレートを準備
↓
学校で一回体験
↓
夏休みに取り組み
OneNoteにまとめる

測ってみよう!～「長さ」の巻～

小さいものの長さ
編集
鉛筆の幅
予想 1cm1mm 結果...
リモコンの電源…
予想1cm1mm 結果 1c...
ポットの持つ所…
予想2cm1mm 結果1c...
コップの飲む所
予想5mm 結果3mm へ
筆箱のチャック…
予想3mm 結果4mm
基準
1小指＝1cm

測ってみよう!～「長さ」の巻～



「学ぶ手立て」「選択肢」の広がり
「できる・わかる」が
日常とつながっていく

自分でできるよ・やってみよう
もっとこうしたい

「自分で学べる」自信へ